



わくわく活動ひろば

豊橋市では、みなさんからの寄附などによるトヨッキー基金（市民協働推進基金）から、社会に役立つ活動に市民協働推進補助金を交付しています。この補助金によるNPOや自治会などの活動を紹介します。



東三河動物福祉の会 ハーツ

平成19年度の東三河の犬猫殺処分数は約1,400頭。処分には多大な税金が使われ、その半数以上がホームレス猫から生まれた子猫といわれています。不幸な命をこれ以上増やしてはなりません。本来飼主がすべき不妊・去勢手術ですが、ホームレス猫にはその飼主がいません。「かわいそうだから」という気持ちでエサだけを与えることは、不幸な命を増やしていることとなります。

私たちは「人と動物が共生できる町づくり」を行うために、行政、地域住民の方々と協力し、ホームレス猫の不妊・去勢手術を進めています。手術後の猫は発情後の鳴き声などがなくなるので元の生活場所に戻します。アメリカ、日本の都市部ではこの方法でホームレス猫が減ったそうです。私たちは「殺処分ゼロ」を目標に活動を続けていきます。

活動内容: パネル展、チラシ配布による動物愛護精神の啓発、犬猫の飼い方相談、里親さがしのアドバイスと協力、ホームレス猫の不妊・去勢手術するためのケージの無料貸出や手術までの協力（動物の引き取り・預かりはしません）

問合せ 東三河動物福祉の会 ハーツ (☎47・6744 ☒ hearts@aspot.info ☒ http://www.hearts.aspot.info/)



パネル展のようす



捕獲作業のようす

肢体不自由者ガイドヘルプ 渋茶倶楽部 しぶちやくくらぶ

渋茶倶楽部は、車いすで生活している障害者の方の要望に沿って、豊橋市社会福祉協議会ボランティアセンターの協力で平成9年9月に発足したボランティアサークルです。現在、サークル員が肢体不自由な利用者会員の方の社会参加に協力する目的で、車椅子介助ボランティアとしてガイドヘルプを行っています。

はじめは、渋茶倶楽部の活動を広く知ってもらい、利用者会員の方に屋外へ出る楽しさを体験してもらうために、「ドライブ行楽」と銘打って「伊良湖フラワーセンター」へ行きました。皆さんとても満足されたようすで、帰りに「とても楽しかったので秋にも行きたい」との要望があり、これが現在の「春の行楽」と「秋の行楽」の基礎となりました。今では「お花見」と「花火見物」も加わり、年4回の行楽行事を行っています。今後は、この行事を続けながら利用者会員2人、サークル員2、3人の「ミニ行楽」を発展させたいと考えています。

このほかにも会報「渋茶タイムズ」の発行や小・中学校で車椅子体験学習の講師を行うなど幅広く活動しています。私たちの活動に興味のある方、一緒に活動してみませんか。

問合せ 豊橋市社会福祉協議会 (☎52・1111)



春の行楽のようす



お花見行事のようす

トヨッキー基金・市民協働推進補助金について、詳しくは市民協働推進課

(☎51・2482 ☒ http://www.city.toyohashi.aichi.jp/shiminkyodo/)

豊橋市役所

〒440-8501 今橋町1番地 代表☎(0532)51・2111

編集・発行(毎月1日・15日)広報広聴課☎51・2165 ☒56・5711

豊橋市ホームページ <http://www.city.toyohashi.aichi.jp/>

平成16年1月1日号からの広報とよはしのバックナンバーもご覧になれます

広報とよはしはカラーユニバーサルデザインに対応しています

市販されているうずらや鶏の卵・肉は食べても大丈夫です

- ・鳥インフルエンザウイルスは、うずらや鶏の卵や肉を食べることでは人に感染しません
- ・うずらや鶏の卵を「生」で食べてもこの鳥インフルエンザウイルスに感染することはありません

問合せ: 農政課 (☎51・2459)